

Ⅲ 調 査 票

問3 あなたは、ご自身の健康づくりを進める上で、どのような環境づくりが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- ① 健康に配慮した(適正カロリー、適塩、野菜摂取等)メニューを提供する飲食店の充実
- ② 健康に配慮した(適正カロリー、適塩、野菜摂取等)弁当や総菜等を販売する店舗の充実
- ③ 塩分や油を抑えた調味料や加工食品の種類、販売店舗の充実
- ④ ウォーキングコースや歩道の整備
- ⑤ スポーツジム、プール等運動施設の充実
- ⑥ 健康づくりに関する情報の充実(バランスの良い食事や運動の効果的な取組、ウォーキングイベントやコースの情報等)
- ⑦ 健康づくりに関するイベントの開催(ウォーキングやマラソン大会、食育イベント等)
- ⑧ 市町村等による健康ポイント制度(※)の創設
※(個人の健康づくりの取組にポイントを付与し、ポイントに応じた特典を提供)
- ⑨ 職場における健康づくりに関する取組の充実
(スポーツ大会、健康コンテスト、健康づくりへの助成)
- ⑩ その他(具体的に)

〇仕事・社会参加、地域に関する実感

問4 あなたは、今までに公共的活動(※)に参加したことがありますか。（〇は1つ）

※公共的活動には、NPO法人、公益法人、市民活動団体、ボランティア団体、企業などが社会一般の利益のために行う活動や自治会、消防団、公民館などが地域のために行う活動のほか、それらの活動を寄付や募金などにより応援することを含みます。

- ① 現在、参加している。
- ② 現在は参加していないが、今までに参加したことがある。
- ③ 参加したことはないが、今後は参加したい。
- ④ 参加したことがなく、今後も参加したいと思わない。

問5 あなたは自分の能力が仕事(収入のあるもの)あるいは公共的活動の両方又はどちらかで発揮できていると思いますか。（〇は1つ）

- ① 発揮できている。
- ② まあ発揮できている。
- ③ あまり発揮できて(して)いない。
- ④ 発揮できて(して)いない。

問5で①発揮できている、②まあ発揮できている、と答えた方にお伺いします。能力を発揮できていると思うものは何ですか。（〇はいくつでも）

- ① 仕事
- ② NPO法人、公益法人での活動
- ③ 市民活動やボランティア活動
- ④ 自治会、消防団など地域の活動
- ⑤ その他(具体的に)

問6 あなたは自分の暮らしている地域の景観や自然、文化などに誇りを感じていますか。（〇は1つ）

- ① 感じている。
- ② まあ感じている。
- ③ あまり感じていない。
- ④ 感じていない。

○文化芸術活動に関する実感

問7 あなたは過去1年間に文化芸術活動（鑑賞を含む）（※）を行ないましたか。

① はい

② いいえ

※「文化芸術活動」とは、あなたが楽しさや感動を感じ、創造力や表現力がはぐくまれたと感じる下記のような活動をいいます。また、この設問での鑑賞活動にはテレビ、インターネット等による鑑賞は含みません。

問7で「①はい」と答えた方にお伺いします。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【自ら創作・参加する文化芸術活動】

- ① 音楽
(クラシック・ロック・ポピュラー・演歌など)
- ② 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)
- ③ 写真
- ④ 演劇(現代劇、ミュージカルなど)
- ⑤ 舞踊(バレエ、ダンスなど)
- ⑥ 映画、漫画・アニメ制作など
- ⑦ 日本の伝統芸能
(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)
- ⑧ 地域の民俗芸能
(獅子舞、神楽など)
- ⑨ 演芸(落語、漫才など)
- ⑩ 生活文化(書道、華道、茶道など)
- ⑪ 文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)
- ⑫ 国民娯楽(囲碁、将棋など)
- ⑬ その他(具体的に:)

【文化芸術作品の鑑賞活動】

- ① 音楽
(クラシック・ロック・ポピュラー・演歌など)
- ② 美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)
- ③ 写真
- ④ 演劇(現代劇、ミュージカルなど)
- ⑤ 舞踊(バレエ、ダンスなど)
- ⑥ 映画(アニメ作品含む)
- ⑦ 日本の伝統芸能
(歌舞伎、詩吟、日本舞踊、和太鼓など)
- ⑧ 地域の民俗芸能
(獅子舞、神楽など)
- ⑨ 演芸(落語、漫才など)
- ⑩ 生活文化(書道、華道、茶道など)
- ⑪ 文芸(小説、短歌、俳句、川柳など)
- ⑫ 国民娯楽(囲碁、将棋など)
- ⑬ その他(具体的に:)

問8 あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境、例えば、鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的まちなみの保存・整備などに満足していますか。（○は1つ）

- ① 満足している
- ② どちらかといえば満足している
- ③ どちらかといえば満足していない
- ④ 満足していない
- ⑤ わからない

問9 あなたは、あなたが住んでいる地域の文化的環境を満足できるものとするために、何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- ① ホール・劇場、美術館・博物館などの文化施設の充実
- ② 公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実
- ③ 地域の芸能や祭りなどの継承・保存
- ④ 歴史的な建物や遺跡などを活かしたまちづくりの推進
- ⑤ 芸術家や文化団体の活動の支援
- ⑥ 文化施設や文化事業において地域の芸術家を積極的に活用
- ⑦ 子どもが文化芸術に親しむ機会の充実
- ⑧ 特に必要はない
- ⑨ その他(具体的に: _____)
- ⑩ わからない

○運動・スポーツに関する実感

問10 この中にあなたが過去1年間に行なった運動・スポーツがあればあげてください。学校の体育の授業として行なったものや、職業として行なったものは除きます。（○は5つまで）

- ① 体操(ラジオ体操、ご当地オリジナル体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなど)
- ② ウォーキング(インターバル速歩、歩け歩け運動、散歩など)
- ③ ランニング(ジョギング)、陸上競技
- ④ ゲートボール、グラウンドゴルフ、マレットゴルフ
- ⑤ ゴルフ
- ⑥ 水泳
- ⑦ 野球、ソフトボール(キャッチボールなど含む。)
- ⑧ サッカー、フットサル
- ⑨ ウィンタースポーツ(スキー、スノーボード、スケートなど)
- ⑩ 登山(クライミングを含む)、キャンプ、ハイキング、ワンダーフォーゲル
- ⑪ ダンス(フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなど)
- ⑫ マリンスポーツ(ボート、ヨット、カヌー、釣りなど)
- ⑬ 柔道、剣道、空手、すもう、ボクシング、レスリング
- ⑭ 弓道、アーチェリー
- ⑮ ボウリング
- ⑯ 球技(バレーボール、バスケットボール、テニス、ソフトテニス、バドミントンなど)
- ⑰ 室内運動器具を使ってする運動
- ⑱ その他(_____)
- ⑲ 該当なし

問11 問10であげた種目を含め、あなたは過去1年間に運動・スポーツを何日ぐらい行ないましたか。全く行なわなかった方もお答えください。（○は1つ）

- ① ほとんど毎日
- ② 週に3～4日
- ③ 週に1～2日
- ④ 月に1～3日
- ⑤ 3ヶ月に1～2日
- ⑥ 年に1～3日
- ⑦ 行なっていない。
- ⑧ わからない。

問12 あなたは自ら運動・スポーツをする以外に、運動・スポーツにどのような関わり方をして
いますか。(〇はいくつでも)

- ① 指導者として関わっている。
- ② 地域の運動・スポーツ活動の運営に携わっている。
- ③ 各種運動・スポーツ行事、大会、教室等へボランティアとして参加している。
- ④ 競技場等に出掛け、スポーツを観戦する。
- ⑤ テレビ等により日常的にスポーツ中継、スポーツ情報に接している。
- ⑥ その他()
- ⑦ 特に関わっていない

〇信州ブランド戦略の認知度について

長野県では平成25年3月に「信州ブランド戦略～コンセプト編～」を策定し、「信州らしさ」
を統一感をもって効果的に発信し、信州のブランド力を向上していく取組を進めています。

この戦略では、キャッチフレーズ「しあわせ信州」やロゴマーク(愛称：信州ハート)を定
め、多くの方々に信州を発信していただくことを目指しております。
この「信州ブランド戦略」についてお伺いします。

問13 あなたは「しあわせ信州」という言葉を知っていますか。または、聞いたことがあります
か。あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① 知っている(聞いたことがある)
- ② 知らない(聞いたことがない)

問14 あなたは「信州ハート」を目にしたことがありますか。
あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① 目にしたことがある
- ② 目にしたことがない



問15 あなたは「信州ハート」に込められた意味を知っていますか。
あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① 知っている
- ② 知らない

【込められた意味】

「信州ハート」に使われている3色は、左から「豊かに
広がる森林や田園」「気高くそびえる山々」「清らかな川
の流れや湖」を表しています。

また同時に、信州の貴重な価値である「健康長寿」「勤
勉で教育熱心な県民性」「自然の美しさ 環境との共生」
も意味しています。

問16 あなたは県がブランド戦略「信州ブランド戦略」を進めていることを知っていますか。あ
てはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① 内容も含め知っている
- ② 内容は一部知っている
- ③ 名称は知っている(聞いたことがある)
- ④ 知らない(聞いたことがない)

【「長野県廃棄物処理計画（第4期）」について】

県では、来年度、廃棄物の減量化と適正処理等の指針となる「長野県廃棄物処理計画（第4期）」（計画期間 H28年度～32年度）を策定することとしています。つきましては、廃棄物行政に関する県民の皆様の意識などについて把握したいため、問17～23についてお伺いします。

問17 市町村の実施する分別回収への積極的な協力など県民の皆さまの取組により、長野県のごみ等の減量化は、平成24年度実績では全国トップクラスです。あなたはこのことをご存知ですか。（○は1つ）

- ① 知っている（聞いたことがある） ② 知らない

【参考】

1人1日あたりの一般廃棄物(※)排出量は
少ないほうから全国3位

順位	都道府県名	重量(g)
1	熊本県	845
2	沖縄県	853
3	長野県	862
4	佐賀県	873
5	滋賀県	876
6	香川県	891
7	広島県	894
8	山形県	912
9	埼玉県	914
9	奈良県	914
9	愛媛県	914

一般廃棄物(※)のリサイクル率は
高いほうから全国7位

順位	都道府県名	比率(%)
1	三重県	30.7
2	山口県	28.1
3	岡山県	26.7
4	鳥取県	26.0
5	島根県	25.5
6	埼玉県	25.2
7	長野県	25.0
8	神奈川県	24.8
9	北海道	23.6
10	千葉県	23.4

[出典：H26.3.27発表 環境省 一般廃棄物処理実態調査 平成24年度実績]

※一般廃棄物とは、主に家庭や飲食店等から出されるごみを指します。

問18 廃棄物にまつわる課題について、特にどのようなことに関心がありますか。（○は3つまで）

- ① 焼却炉からの排ガスや最終処分場からの排水などによる環境への影響
 ② ポイ捨てや不法投棄などによる環境破壊
 ③ ごみの減量化が進まないことなどによる焼却場や埋立地の不足
 ④ リサイクル等の循環的な利用が進まないことなどによる天然資源の枯渇
 ⑤ ごみ処理有料化や分別など、住民や事業者にとっての負担の増大
 ⑥ 特に課題はない
 ⑦ その他(具体的に)

問19 問18で特に関心をお持ちの廃棄物に関する課題は、どのように解決すべきだと思いますか。（○は3つまで）

- ① 住民や事業者の意識改革と廃棄物の減量・循環的な利用への取組(排出抑制、再使用、リサイクルの推進)
 ② メーカーによる使用済製品の引き取り制度の実現など、メーカー責任の強化による発生抑制(※)
 ③ 県や市町村による廃棄物処理施設の整備
 ④ ごみの収集回数を増やすなどの市町村のごみ処理に関するサービスの向上
 ⑤ 県などによる処理業者に対する指導強化や、法律や条例の規制強化
 ⑥ 処理業者による廃棄物処理施設整備の推進(リサイクル施設を含む)
 ⑦ その他(具体的に)

※メーカーなどの生産者が、生産だけでなく、生産した製品の使用后・廃棄後においても製品の適正な再使用・リサイクル・処分について一定の責任を負うという考え方

問20 大量生産・大量消費・大量廃棄のライフスタイルは、大量の廃棄物を生み出しました。このような「使い捨て型社会」から脱し、「循環型社会」への転換を進めていくには、どのような取組が有効だと思いますか。（○は1つ）

- ① 排出抑制をより進めていく(リデュース:ものを大切に使い、ごみを減らす)
- ② 再使用をより進めていく(リユース:使えるものは繰り返して使う)
- ③ 再生利用をより進めていく(リサイクル:ごみを資源として再び利用する)
- ④ 有効な手段はない
- ⑤ その他(具体的に)

問21 あなた自身、ごみ減量のためにどのようなことを実践していますか。（○はいくつでも）

- ① 家庭での生ごみの堆肥化
- ② 家庭での水切りの徹底
- ③ 大きいものをできるだけ買い換えない、又はなるべく粗大ごみを出さない
- ④ 壊れたもの、古いものもできるだけ修理して使う
- ⑤ 必要な食材を必要な量だけ買う、又は料理を余らせない
- ⑥ 同じものを買うなら包装の少ないものを買う
- ⑦ 買い物の際は、レジ袋をもらわない
- ⑧ 特に実践していない
- ⑨ その他(具体的に)

問22 皆さまのご家庭でごみをこれから1人1日100g（1年間なら約37kg）減量するためには次のどれが有効だと思いますか。ご自身で行っていること、行っていないことにかかわらず、有効だと思うものをお答えください。（○は3つまで）

- ① 家庭での生ごみの堆肥化、又は水切りの徹底
- ② 大きいものをできるだけ買い換えない、又はなるべく粗大ごみを出さない
- ③ 壊れたもの、古いものもできるだけ修理して使う
- ④ 必要な食材を必要な量だけ買う、又は料理を余らせない
- ⑤ 同じものを買うなら包装の少ないものを買う
- ⑥ 買い物の際は、レジ袋をもらわない
- ⑦ メーカーによる使用済製品の引き取り制度の実現
- ⑧ 100gは減らせない
- ⑨ その他(具体的に)

問23 道路や河川敷へのごみのポイ捨てや不法投棄が後を絶ちません。そのような不法投棄をなくすためにはどのような取組が有効だと思いますか。（○は3つまで）

- ① 警察による取り締まり強化
- ② ポイ捨て防止条例の制定など、行政による指導強化
- ③ 行政や住民によるパトロールの強化
- ④ ポイ捨て禁止の広報・啓発
- ⑤ 地道なごみ拾いや花壇づくりなどの美化活動による、ごみを捨てにくい環境の整備
- ⑥ その他(具体的に)

【「食べ残しを減らそう県民運動」について】

県では、飲食店等や家庭から出される生ごみを削減するために、「食べ残しを減らそう県民運動」を実施しています。

つきましては、本運動の認知度や県民の皆さまのご家庭等での取組状況を把握するため、問24～28についてお伺いします。

問24 あなたは次の取組をご存知ですか。①～③のそれぞれについて、該当する番号（1から2）に1つつつ○をつけてください。

	知っている (聞いたことがある)	知らない
① 「食べ残しを減らそう県民運動」(※1)	1 _____	2 _____
② 「食べ残しを減らそう」協力店(※2)	1 _____	2 _____
③ 「宴会たべきりキャンペーン」(※3)	1 _____	2 _____

※1 「食べ残しを減らそう県民運動」

平成22年度から、生ごみの発生抑制を目的に、飲食店や宿泊施設での食べ残しを減らす取組や、家庭から出る生ごみを減らすための意識の向上に向けた取組を行っています。

※2 「食べ残しを減らそう」協力店

食べ残しを減らす取組を実践する県内の飲食店・宿泊施設を登録する制度として、「食べ残しを減らそう県民運動」の開始から県内全域で募集しています。現在285店舗が登録(平成26年12月31日時点)しています。

○登録の要件

次に示す「食べ残しを減らす」取組項目を、1つ以上実践すること

- (1)小盛メニュー等の導入
- (2)持ち帰り希望者への対応
- (3)食べ残しを減らすための呼びかけ実践
- (4)上記以外の食べ残しを減らすための工夫



協力店であることを示すステッカー

※3 「宴会たべきりキャンペーン」

特に食べ残しが多い「宴会での食事」に焦点をあて、宴会で食べ残しをしないための呼びかけを、協力店等と宴会幹事との協力により宴会参加者に行う取組。平成23年度から実施しています。

問25 あなたは次の取組をどの程度実践していますか。①～②のそれぞれについて、該当する番号（1から4）に1つつつ○をつけてください。

	常に実践 している	概ね実践 している	あまり実 践してい ない	実践してい ない
① 家で食べ残さない	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____
② 飲食店や宿泊施設で食べ残さない	1 _____	2 _____	3 _____	4 _____

問26 あなたの家庭では、次の生ごみを減らすために有効であると思われる取組をどの程度実践していますか。①～⑦のそれぞれについて、該当する番号（1から4）に1つつつ○をつけてください。分からない部分がありましたら、ご家族の方にお聞きいただきますようお願いいたします。

	常に実践 している	概ね実践 している	あまり実 践してい ない	実践してい ない
① 買物に行く前に、冷蔵庫の中身を チェックしている	1 ———	2 ———	3 ———	4
② 必要なものを必要なだけ買っている	1 ———	2 ———	3 ———	4
③ 日頃から「消費期限」(※1)を把握 して、食品を無駄にすることがな いようにしている	1 ———	2 ———	3 ———	4
④ 「賞味期限」(※2)を過ぎてもすぐ に捨てるのではなく、見た目や臭 い等により、五感で食べられるか を判断している	1 ———	2 ———	3 ———	4
⑤ 家族(一人暮らしの場合は本人 分)が食べきれる量だけ作っている	1 ———	2 ———	3 ———	4
⑥ 野菜の皮など、今まで捨てていた ものを使って調理をしている	1 ———	2 ———	3 ———	4
⑦ 食べ残したものをを使って、他の料 理に作り替える工夫をしている	1 ———	2 ———	3 ———	4

※1 消費期限とは、期限を過ぎたら食べないほうがよい期限です。

※2 賞味期限とは、おいしく食べることができる期限です。この期限を過ぎても、すぐに食べられないというわけではありません。

問27 問26で①～⑦の項目のうち、1項目でも3と4を選択した方は、その理由をお答えください。（○は3つまで）

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ① 生ごみを減らすための工夫がよくわからない | ⑤ 関心はあるが、面倒くさい |
| ② 時間はあるが、手間がかかる | ⑥ 関心がない |
| ③ 忙しくて、時間がない | ⑦ その他(具体的に) |
| ④ 家庭でたい肥化しているので必要性を感じない | |

問28 生ごみを減らすための普及活動の場として適しているのはどこですか。（○は3つまで）

- | | |
|-----------|---------------|
| ① 幼稚園・保育園 | ⑤ 大学、専門学校 |
| ② 小学校 | ⑥ 公民館、消費者センター |
| ③ 中学校 | ⑦ その他(具体的に) |
| ④ 高等学校 | |